

令和5年第10回（臨時）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和5年8月10日午後1時35分

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

出席者

玉野教育長、吉田委員、山名委員、神尾委員、吉屋委員

出席事務局職員

木田教育部長、福本教育推進室長、矢野学校教育室長、石原教育推進室教育総務課長、
福永学校教育室学校教育課長、亀野青少年センター所長、志比田学校教育室学校教育課係長、
藤井学校教育室学校教育課職員、加嶋学校教育室学校教育課職員

本日の会議に付した事件

議案

- 1 令和6年度使用教科用図書の採択について

その他

- 1 令和6年度事業計画について

議 事 議案 1 令和6年度使用教科用図書の採択について

○教育長 会議規則第12条第1項により、傍聴を許可します。

ただし、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項のただし書により、「人事に関する事件その他の事件について、教育長又は委員の発議により、出席者の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」とあります。選定委員会の独自性を確保するために、選定委員会会長の報告について、非公開とすることに賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

○教育長 賛成多数により、選定委員会会長の報告につきましては、非公開とさせていただきます。

(非公開のため別途会議録作成)

○教育長 事務局に、今回の教科用図書の選定の流れ、教科書展示会の状況について説明を求めます。

○事務局 (教科用図書採択の流れ、教科書展示会の状況について説明)

○教育長 採択について、教科書展示会についての報告、ありがとうございます。

教科用図書の採択については、高砂市教科用図書選定委員会会長から先ほど報告がありました。令和6年度の使用教科用図書の採択に関する選定報告などに基づいて採択をいたします。このことについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 異議なしということですので、協議を進めてまいります。

では、それぞれの教科についての御意見を伺います。

まず、国語科について御意見を伺います。

○委員 大きな分かれ目ということで、分冊か1冊かというところがありました。教育出版だけが分冊、あとは1年から4年までが分冊で、5、6年生は1冊になっているのですが、ランドセル等が重いということが昨今課題になっていますので分冊がいいのかなと。次に、主体的・対話的で深い学び、これは重要なポイントなので外せないと思っていますが、ここも各社ともに特色ある工夫があるのですが、東京書籍、光村が分かりやすいと思いました。

次に、内容の分量です。話す、聞く、書く、読む、言葉、情報、言語等あるわけですが、本市は例年ずっと書くというところに課題を持っておりますので、書く分量という分野でその内容、量では東京書籍が一番充実していると思いました。

次に、共通教材が幾つか出てくるので比較検討には良くて、5年生の共通教材に「大造じいさんとガン」を比較検討しました。その結果、光村のこれまでの学

習や見通しを持とうといった項目で、広く、深く、系統立った学習ができる。また、知る、話す、聞く、読む、つなぐから3つの観点を設定して、振り返りがしやすくなっているので、教育教材からは光村図書がよいと思いました。

あと、兵庫県に関する内容は東京書籍が一番多く、防災は光村図書がよいと思いました。

次にSDGsは教育出版が全学年で扱っていますので、良かったと思います。

最後に、教材とか挿絵とかレイアウト、文字の大きさ等、国語という教科の特殊性もありますが、ちょっと手に持ってみたいな、ページを開けてみたいなと思える、そういうことについてはミステリーやSF教材などがたくさんあること、紙質や色使いやフォントに落ち着きがあるという点で、光村図書がよいと感じました。

総合的な判断ということで、私は光村図書が推薦できると考えています。

○教育長 私は自ら学ぶということを観点にして、学習の仕方が示されていたり、ページ下の部分に進め方が書かれていることから、国語の教科用図書は光村図書がよいと思いますが、あとの委員さんはどうですか。光村を採択することによろしいか。
(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 国語の教科用図書は光村を採択することに決定いたしました。

国語科の書写に移らせていただきます。

御意見ございますか。

○委員 まず、1年生ということで、導入のやりやすさ、説明のしやすさということで、光村のイラストつきの書写体操、整理体操、写真等、一番分かりやすいと思いました。

次に、主体的・対話的という部分では、3社とも大きな違いはなかったように感じました。

あと、兵庫県に関する内容については、東京書籍と教育出版が随所にあってよかったと思います。

防災については、東京書籍が多かったと思います。

また、SDGsに関しては、光村が3年、4年、5年、6年と入っていていいと思いました。

以上で、学習の進め方において主体的な学びを支援する細かい工夫があること、3年生の毛筆スタートブックの存在などを加味して、光村図書を推薦図書としたいいと思いました。

○教育長 ほかの委員様は光村図書でよろしいですか。

○委員 私も光村です。理由は、子供たちに興味を持ってもらうということが一番大事なので、SFとか比較的新しい作品が多く取り入れられているという点です。

○教育長 国語科の書写の教科用図書は、光村図書を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 国語科の書写の教科用図書は、光村図書を採択することに決定いたしました。
社会科について御意見伺います。

○委員 写真の多さは東京書籍、地元が扱われていることから東京書籍、日文にも明石と姫路が使われていますが、身近な市が出てくると非常に分かりやすいということがあります。

東京書籍は、文字の大きさや色、背景の色とか、それなりの配慮をされているということと、分冊ができていますということがあります。

○教育長 私も写真に目を引かれました。それと、子供たちの発信というのも考えてみると、何とか新聞とかいうようなことが提示されてある東京書籍が良いと思っておりますが、社会科の教科用図書は東京書籍を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 社会科の教科用図書は、東京書籍を採択することに決定いたしました。
続きまして、社会科の地図につきまして、御意見ございましたらお願いいたします。

○委員 問題になったのは、山の高さ、海の深さに関してのスケールをどこで区切るか、東京書籍は 50 メートル、100 メートル単位ぐらいで、帝国書院は 200 メートル、600 メートルです。スケールが大きいと色の度合いが非常に少なくなって、分かりやすいし、細かく見ようと思えば、非常に雑かなということもありますが、トータルして見やすさの方が勝ったと思います。

内容的に関しては、帝国書院は、歴史との関係が非常によく書かれていて、興味をそそるような内容が多々認められました。また、ページ数は多いけれども、自然災害と防災の記載があったり、イラスト等も本当に楽しみやすく、統計あるいは図に関しても、非常に分かりやすい内容になっている印象を受けました。

東京書籍は、日本と世界の歴史の絡みが非常に分かりやすかったんですが、トータルとしては帝国書院の方がやや勝ったと、帝国書院を選択させてもらいました。

○教育長 ほかの委員さんは御意見ございませんか。
社会科の地図の教科用図書は、帝国書院を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 社会科の地図の教科用図書は、帝国書院を採択することに決定いたしました。
算数科について御意見を伺います。

○委員 数学的思考というのはすごく幼いうちに出来上がってしまうものだと聞いていまして、算数感というのを一番ワイドに捉えているのが、啓林館だと思いました。これも算数になるのと思うぐらい広い範囲で算数を捉えていますし、数学的

思考がつながっていかないところでも、登場人物の吹き出しで誘導してくれるような作り方が上手にできているなど感じましたので私は啓林館が一番いいと思います。

○教育長 ほか、御意見ございませんか。

算数科の教科用図書は、啓林館様を採択することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 算数科の教科用図書は、啓林館様を採択することと決定させていただきます。
続きまして、理科につきまして、御意見ございますか。

○委員 啓林館がいいと思います。デジタルコンテンツ等が充実しているところと、大地のつくりというところからです。自分たちの身近な阪神・淡路兵庫県南部地震から学んでいくというところが一番多く書かれているので、そこが一番大きいと思います。

○教育長 私も子供が理科に興味を持って、自分で進んで取り組んでいてもらいたいと思っていますが、啓林館は理科を楽しむ見方、考え方の緑のマーカーのところの表現がすばらしいなと思いました。

皆さん、理科は啓林館を採択することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 理科の教科用図書につきましては、啓林館を採択することに決定いたしました。
生活科につきまして、御意見ございますか。

○委員 生活科は、東京書籍が、本自身も写真も絵も大きくぼんと目に入ってきます。それと、就学前の子供たちが、園からの継続という感じで扱われている本が多い中で、そこはそんなに詳しく触れずに、まず学校の1日というオリエンテーションから始まっていくのです。幼・保・こども園から来るとは限らないので、あまりそこに固執しない方がいいと前から思っていました。まず一番大事なのは生活科で、学校ってこういう流れで動くのですよ、今までと違って1人で登校するんですよ、机に1人ずつ座って何かするんですよとかいうのが写真で分かる、自然に目に入るように書いているのがとても分かりやすかったです。啓林館と東京書籍とで悩みましたが、最終的に東京書籍がいいと思いました。

○教育長 生活科の教科用図書は、東京書籍を採択することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 生活科の教科用図書は東京書籍様を採択することに決定いたしました。
音楽科について御意見を伺います。

○委員 音楽科は、教育出版の音楽のおくりものという教科書がいいと思いました。

1点目、例えば国歌「君が代」に対しても、「君が代」を大切にしましょうと書いてある教科書はありますが、そうでなく、「君が代」にはこんな思い、願いが込められていますよという書き方をしています。それで、子供がいろんなことを感

じながら大切にしたいなと自然に思っていけるように持っていつているというのをとても感じました。

もう1つ、全校合奏というのが入っていました。1年生から6年生まで同じ曲を全校でできるようなものを作っている。今からどんどん少子化していくので、そういうことができたらいいいと思っていました。例えば1年生は歌だけ、2年生は歌とピアノの簡単なのが、3年生は歌にリコーダーが、4年生も歌とちょっと難しいリコーダー、5年生は歌とピアノのちょっと難しいの、6年生はパーカッションと歌みたいな感じで全体でやると、1つの曲が立派な合奏と合唱に仕上がるような教材が入っていてすてきだなと思いました。

そういう意味で、教育出版社のものが良いと思います。

○教育長 音楽科の教科用図書は、教育出版を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 音楽科の教科用図書は、教育出版を採択することに決定いたしました。

続きまして、図画工作科について御意見ございますか。

○委員 どちらも工夫されていて、作品の数も多く取り上げられていましたが、開隆堂の方が二次元コードを利用して、道具の使い方とか安全面も含めてより詳しく書かれてあるので、開隆堂の方を推薦したいと思います。

○教育長 私も、どちらも本当に絵がきれいで、どちらも選びたいぐらいですけども、私の観点は、いろんな描画の方法を取り入れているな、こんな方法もあるよとか、こんなものも使えるよとかいうことが書かれてあるということで、開隆堂が良いと思いました。

図画工作科の教科用図書は、開隆堂を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 図画工作科の教科用図書は、開隆堂を採択することに決定いたしました。

家庭科につきまして、御意見ございませんか。

○委員 2社とも差がなくて困りましたが、プラス面で、東京書籍は家庭での実践につながる工夫があるのと、目当て、学習の流れ、家庭生活へのつながりが分かりやすいです。開隆堂は安全面への配慮についての根拠を示しています。キャリアインタビューのコーナーがあり、キャリア教育との連携リンクができています。細かい部分での特色は、東京書籍はSDGsに関する教材が多くて、つながりも分かりやすかったです。開隆堂は、動画の撮影方法で、ミシンの使い方の説明が児童側から撮影されていて、理解しやすかったです。

差別化ということで、マイナス面を考えると、特に東京書籍が細かくて丁寧な説明になっていて、これは情報量が多くていいという考え方もありますが、私は多過ぎて扱いが難しく見にくくなってしまったと判断し、総合的に開隆堂を選定の教科書にと思っています。

○教育長 「できたかな」で、下糸と上糸の準備をしているところが具体的で分かりやす

いと感じました。

家庭科の教科用図書は、開隆堂を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長

家庭科の教科用図書は、開隆堂を採択することに決定いたしました。

体育につきまして、御意見を伺います。

6社どの会社も、現代的な課題を掲げていますが、子供の興味関心となると、見やすさということを考え、文字の大きさ、広がり、行間、それから写真等につき、光文書院が良いと思っております。

もう1つ、光文は、健康と生活、発達と年齢、病気と薬物、安全と運動など、関連づけて考えさせるような記事の内容がとても良いと思います。

あと、御意見ございませんか。

○委員

私も光文で、導入に漫画が使われていて子供たちが入っていきやすいということと、個人差のある成長に対しても配慮しているというところがいいと思いました。

○教育長

体育科の教科用図書は、光文書院を採択することに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○教育長

体育科の教科用図書は、光文書院を採択することに決定いたします。

外国語につきまして御意見お願いいたします。

○委員

学習指導要領の趣旨及びひょうご教育創造プランを踏まえたコミュニケーションを図る基礎を育成する内容として「聞く、話す、読む、書く」でこの中で特に、先日の学力・学習状況調査の中でも、話すという部分に課題があると明確に出ておりましたので、話すという部分に絞って時間数を見ってみました。一番良かったのは三省堂で146時間、開隆堂の142、東京書籍の135、上位はこの3社でした。話すというのはやり取りと発表の両方を合計しております。

あと、主体的・対話的だという部分は、大きな差はなかったと思います。

続いて、4技能5領域の扱いの特色、特徴です。特色として取り上げられる項目の数を比較してみました。これも上位3社を見ましたら、3つの特色があったのが、例えば東京書籍だと、導入時のストーリーを伴った音声や映像の使用、展開段階のペアやグループ活動、それから、5年生の文字指導ということで、3項目挙げられました。

開隆堂は3つで、導入時のアニメーション動画、展開段階での音声を聞きながら指で追う活動、自分のことを伝える活動です。三省堂は3つで、導入時の大きな1枚絵を使った活動、展開段階での学んだ表現で話す活動を中心とした活動、1ユニットに1回の書く活動です。教育出版、光村、啓林館は2項目でした。

最後に、それ以外の各社の特色、工夫では、東京書籍はデジタルコンテンツが充実している、プレゼンテーションを行う単元が適度に配置されている、単語や文字を書く活動が十分に確保されている、P i c t u r e D i c t i o n a r

y は別冊になって扱いやすい、4 項目あったと思います。開隆堂は年に 3 回、ペーパーテスト等で総括的な評価を行うことができたり、CAN-DO リストが具体的で振り返りがしやすかったり、写真が多く鮮やかでしたが、児童用デジタル教科書には英語字幕がなかったのが少し残念でした。あと 4 社については、大体 2 項目ぐらいのプラス、1 項目ぐらいのマイナスがあったように感じました。

これを総合判断して、東京書籍が一番まとまりがよいと思いました。

○教育長 ほかに御意見ございませんか。

外国語科の教科用図書は、東京書籍を採択することに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 外国語科の教科用図書は、東京書籍を採択することに決定いたします。

特別の教科、道徳につきまして、御意見お願いいたします。

○委員 光村図書は道徳価値の表示の仕方が分かりやすく、どういうものを勉強していくかということ、道徳を始めたらどういうふうになっていくということの道筋が分かりやすく書かれていた印象がありました。

教育出版は姫路の明珍火箸の風鈴とか、地元に関係することがあり非常に取っつきやすいというメリットもあります。

日文は、道徳ノートを各学年につけていて、これがあると非常にボリュームが増しますが、各学年が同じで、結局、なかなか利用しにくいので非常に残念だと思いました。ここでも姫路のことを扱っていましたが、ちょっとネガティブなマイナス点になるようなところがありました。

光文は、色が非常に鮮やかで、カラフルで取っつきやすいんですが、コラムで、各学年で特に考えたいこと、何かもう 1 つ誘導されていくことに関して、道徳そのものを 1 年通じて勉強していくのにちょっと難しいところがあったように思います。

学研も、教材から学ぶところに関して、記載の状態に若干難しさを覚えました。

みんなで話し合ったときに、どうしても答えを 1 つに誘導していこうというところが目につくような文章がある教科書もあったりしたので、この教科に関しては、答えはなかなか 1 つにまとまらないだろうし、1 つの答えを必要としない多様性があり、答えを誘導するようなものが僅かでもあったら、すごく違和感を覚えました。総合的に判断して、光村図書にさせていただきました。

○教育長 他の委員は光村図書でいいですか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○教育長 特別な教科、道徳の教科用図書は、光村図書を採択することに決定させていただきます。

これで 13 種目の令和 6 年度使用教科用図書の採択が終わりましたので確認をさせていただきます。国語は光村図書、書写は光村図書、社会は東京書籍、社会の地図は帝国書院、算数は啓林館、理科は啓林館、生活は東京書籍、音楽は教育

出版、図画工作は開隆堂、家庭は開隆堂、体育は光文書院、英語は東京書籍、特別の教科道徳は光村図書です。間違いございませんか。

以上、採択することを決定することとさせていただきます。よろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 その他の教科用図書につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 (中学校の教科用図書は、令和５年度と同一の教科用図書を採択し、特別支援学級の教科用図書は、文部科学省検定済教科用図書、下学年本を含む、文部科学省著作本を使用する方向で検討し、児童生徒の実態に応じて一般図書を採択する旨を説明)

○教育長 御質問、御意見ございますか。

以上で令和６年度使用教科用図書の採択についての議題を終了いたします。

議 事 その他 １ 令和６年度事業計画について

○教育長 その他１、令和６年度の事業計画について、説明をお願いいたします。

○事務局 前回の教育委員会の際に御指摘をいただきました事業計画につきまして、ソフト事業のみですが、一覧表の右側に事業内容として説明を付け加えさせていただいております。

令和５年８月１０日 午後３時５７分 教育長会議の閉会を宣告
